

## 私に影響を与えてくれた本①

「何を書こうか」と思い悩みましたが、皆様とお会いして間もない  
ので、「私」という人間を知つていただきようなことを書きたいと思  
いました。「そのためには?」と考えて、「私に影響を与えてくれた本」  
ということをしばらく書いてみることにします。(時折、他の話題も  
入れます。)

記念すべき第1冊は、宮田光雄著『信仰への旅立ち』(新教新書、1  
982年)です。これは、私が最初の大学に合格したお祝いに、南名  
古屋教会の高校科の先生からいただいたものでした。当時私は、信仰  
においてとても「保守的」な考えに影響を受けていました。幼い頃か  
ら本を読むことはとても好きでしたが、当時は「クリスチヤンは、聖  
書以外の本を読んではいけないのではないか、まして架空のこと、言  
うならば偽りのことを書いてある小説などは」と思つていたように思  
います。そんな私にとって、この本はまさに「目からうろこ」、固まつ  
た考え方から自由にし、考え方と生き方の幅を大きく広げてくれまし  
た。

これは、宮田光雄さんが大学の先生であつた時に、学生たちと共に  
した読書サークルで読んだ本を紹介し、読者にも読書の面白さと醍醐  
味を示すものでした。ここでは、信仰書・神学書だけでなく、『星の王  
子さま』や『ged戦記』などの文学書も紹介されています。そしてこ  
う語られているのです。「すぐれた本との出会いは、豊かな心情をは  
ぐくみ、倫理的な感覚を目指せさせてくれる。強い思索力と生き生き  
した想像力を養ってくれる。閉鎖されたように見える社会の現実を  
こえて、新しい平和な未来を思い描く力を与えてくれる。それはまた、  
おのずから聖書に親しみ信仰に生きる志をつちかつてくれるである  
。読書のすすめは、信仰への旅立ちのために、なくてはならない手  
引きなのだから。」これで私は救われたように思い、それから私の「信  
仰への旅立ち」が始まつたのです。

## 【 今年度のテーマ・聖句 】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。  
すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも  
数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、  
各自は互いに部分なのです。 (ローマの信徒への手紙 12 章  
4~5 節)

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax : 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>

## ◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 大森秀夫執事  
奏楽 田中由紀子姉

前 奏	
招 詞	イザヤ 35 : 8 ~ 10
頌 栄	668(みさかえあれ(A))
主の祈り	(新生讃美歌の扉を参照)
交 讀	7(栄光の主・神の住まい)
讃 美	245(戦いは終わり)
聖 書	ガラテヤ 1 : 1 ~ 11 (新共同訳 342p 口語訳 293p)
祈 祷	
讃 美	42(朝の光の中で) 聖歌隊
宣 教	「この時、ここで、 復活の主と会おう」 加藤英治牧師
祈 祷	
讃 美	360(喜びの日よ 光の日よ) 祈り:木村正美兄 (兄弟会)
獻 金	
頌 栄	672(ものみなたたえよ(B)) 加藤英治牧師
祝 祷	
後 告	

## ◎今月の聖句

「わたしは世の終わりまで、あなたがたと共にいる。」

(マタイによる福音書

28章20節b)

## 今月の当番役員

島田利一 安武由美子

## 本日の集会

教会学校

幼稚科・小学科	中高科
青年・成人科	
9 : 30 ~ 10 : 15	

## 主日礼拝の当番

受付:船津丸泰 田中登美子

木村正美(当番役員)

お花:酒井光子

## 主の晚餐式 11:40~11:55

配餐: 田中秀一 庄司まり子

磯部みゆき 金井佳世子

常会 12:00~12:45

## ◎今週の集会(5月4日~5月10日)

<聖書> ガラテヤ 2:15 ~ 3:6

7日(水) 祈祷会 I 10:30

(奨励: 加藤英治牧師)

7日(水) 祈祷会 II

(奨励: 加藤英治牧師) 19:30

## 今週の聖書日課と祈り

4日(日) ヨハネの黙示録	3章 磯部みゆき
5日(月) ヨハネの黙示録	4章 稲生彩子
6日(火) ヨハネの黙示録	5章 植木かおり
7日(水) ヨハネの黙示録	6章 植木美紗子
8日(木) ヨハネの黙示録	7章 内田博祥
9日(金) ヨハネの黙示録	8章 内田綏子
10日(土) ヨハネの黙示録	9章 大里紀代子